

COPM (カナダ作業遂行測定) 評価のコツ

OT推進チーム 評価・訓練班
印西総合病院 作業療法士 田染佐夏

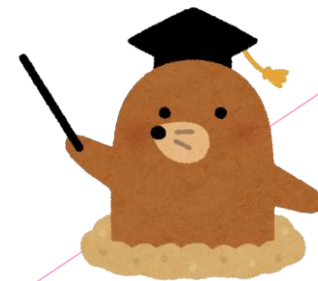
はじめに

カナダ作業遂行モデルはクライアントにとって重要な・大切な作業を抽出し、その作業を実現することが作業療法の目的と考える治療実践理論です。

このような治療体系をトップダウンアプローチと呼びますが、医療の現場ではまだまだ浸透していない考え方でもあります。

今回はカナダ作業遂行モデルの評価方法であるCOPMの評価のコツを紹介します。

最後にCOPMマニュアルのQ&Aを
一部抜粋して紹介するよ！





COPM

▶ 手順

1. 作業遂行の問題に名前をつけて**クライアントの重要度に基づく優先順位**を決定します
2. 作業遂行の問題に対して**現在の**遂行度と満足度を採点します

▶ ポイント

- ▶ **2点以上**の変化があれば臨床上意味があることを示します
- ▶ 再評価の時期はクライアントと一緒に決めます

その人にとって重要な・大切な作業
を聞き取りするために

面接の注意点

バイアスが働いているかも...?



あなたの話し方や態度がクライアントの本心を話しにくくさせているかも知れません...

話を遮らない・否定しないを心がけましょう

作業遂行の問題と言われても...



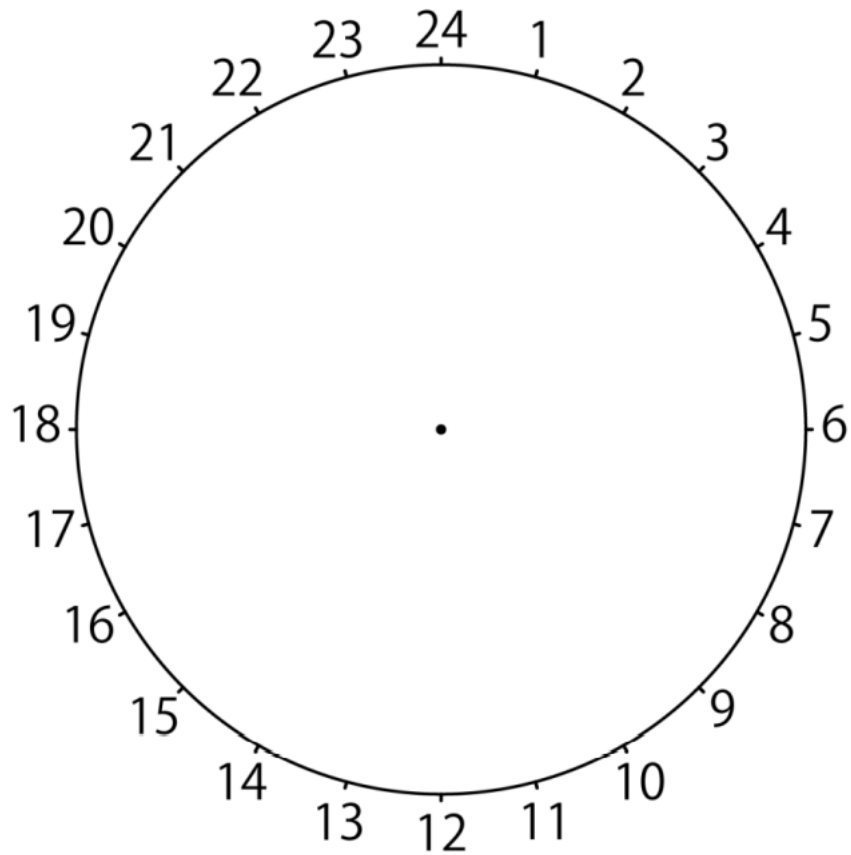
突然「作業」の話をしても話の脈絡がないと人は答えにくいものです。

広く話を聞きながら生活の中のどんなことに重きを置いているクライアントなのか探りましょう

コミュニケーション技術についてまた別の機会学びます



病前の1日の過ごし方を聞いてみる



- ▶ 24時間を円グラフで表します
- ▶ 現在の1日の過ごし方も聴取します
- ▶ 介入初回に評価します
- ▶ 起床後から順番に聞いていきます
- ▶ 不定期にあるイベントや作業に対する思い入れ等の語りは枠外に記録します



作業療法をするにあたって、
入院する前は1日をどのように
過ごされていたか教えてください。
朝は何時に起きていましたか？…

生活行為をカテゴライズする

- ▶ 色ペンを4色準備します

セルフケア 生産活動 余暇活動 休息

- ▶ クライエントに聞きながら分類します

注：お風呂が必ずしもセルフケアとは限りません！

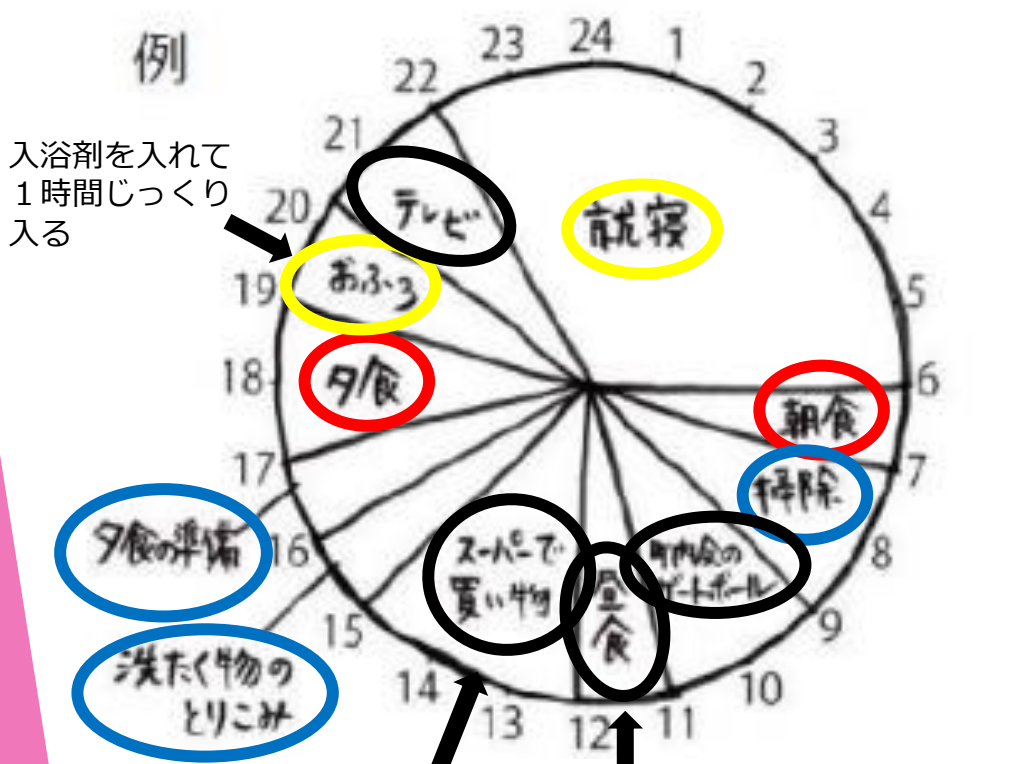


余暇活動の人
もいれば...



休息の意味を
もつ人もいる

- ▶ 1日の生活行為割合（作業バランス）も算出できます



入浴剤を入れて
1時間じっくり
入る

買い物は好き。新商品チェックが
毎日の楽しみ。 ゲートボール仲間と食べに行く

作業バランスはまた別の機会に学ぼう！



生活を元に大切な作業を聞き取る

- ▶ このような追加質問も有用です

一日を振り返ってみて...

- ▶ **あなたが最も大切だと思っている作業**はなんですか？

⇒重要度の高い作業が見つかりやすくなります

- ▶ **あなたが最も楽しみにしている作業**はなんですか？

⇒重要度が高く、生活を彩る作業が見つかりやすくなります

- ▶ **誰かに必要とされている作業**はありますか？

⇒本人の役割に関わる作業が見つかりやすくなります

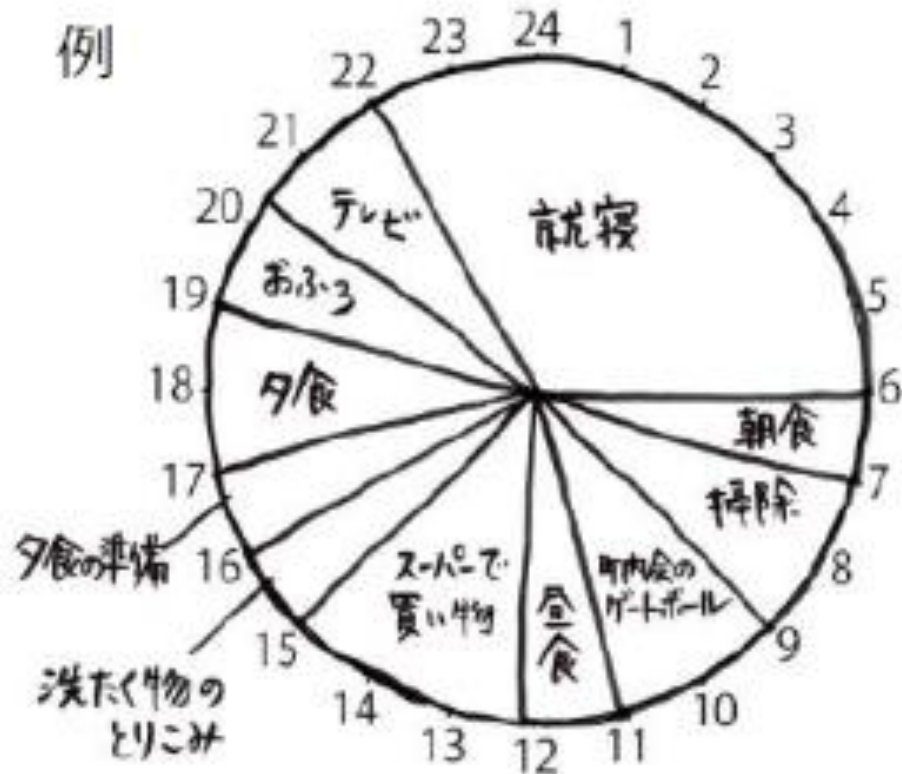
- ▶ **誰かがやってくれるならやりたくない作業**はありますか？

⇒家族や介護サービスの支援ニーズがある作業です

- ▶ **この一日に対するあなたの印象**はどうですか？

⇒病前が理想の生活とは限らないので確認します

例



円グラフの中から選んでもらうように聞くとクライアントは答えやすくなるよ！



▶ COPM実践Q&A

COPMマニュアルに掲載されている事例と捉え方を学ぶ



Question.

認知症のA氏は自宅に帰りたいが妻はA氏が家に帰ることが不安で帰ってきてほしくない...

本人のしたい生活を叶えると妻のしたい生活が損なわれるダブルバインドな事例

Answer.

- ▶ クライアントとは「治療結果として変化を望んでいる人」です。今回の問題に対するクライアントはA氏と妻にあたります。それぞれにCOPMをとりながら、課題を明確にしましょう。
- ▶ 妻のCOPM結果も含めて退院支援をチームで考えましょう。



Question.

認知機能が低下しているB氏
COPMの面接が記憶障害・
注意障害によってできない

Answer.

- ▶ 抽象的な点数化は難しいです。優先度・遂行度・満足度は必ずしも算出しなくてもいいでしょう。
- ▶ しかし、優先度・遂行度・満足度が定まらないからといってCOPMを評価しないわけではありません。クライアントがどう思っているかを聞かないということはクライアント中心の観点からすればあり得ないことです。
- ▶ 病前生活を家族から聞いて、どんな生活を望みそうなのか予測を立てながら作業提供をしましょう。



Question.

セラピストと生活文化が違い、
なぜその生活行為が大切なのか
理解できない...

Answer.

- ▶ COPMはクライアントが優先順位が高いと認識している作業をセラピストの判断で変更することはしません。目標設定をする際の判断に自分の価値観が入っていないか内省しながら進めましょう。
- ▶ 障害や作業遂行の文化的関連事項について作業療法士は知る責任があります。クライアントが済む地域の風習や特定の職業をもつ方の暮らしを知らなければ、学ぶ必要があります。



勤務先の地域がどんな歴史をもっているのか史料館などを訪ねて調べてみるのがおすすめです



おわりに

- ▶ カナダ作業遂行モデルでは**クライアントがしたいことを実現することがリハビリテーションの目的**と考える理論です。
- ▶ 何を為すために今のリハビリテーションをしているのかクライアントと共有できていますか？漫然とボトムアップアプローチをしていないでしょうか。
- ▶ 人はセルフケアだけをして生きている訳ではありません。生産活動や余暇活動がその生活を彩っています。**FIMの項目以外の生活行為にも作業療法士は積極的に関わりましょう。**
- ▶ 作業療法士は作業の専門家です。その人が何をしたい人なのか、どんな作業を実現するニーズをもった人なのかを知るためにぜひCOPMを評価してみてください！